



元気に育つよう願いを込め小丸川にアユを放つ組合員

# 5アユ大きく育って 2/5日 小丸川漁協400キロ放流

水質資源を保護し、アユ釣（川漁業協同組合（前田和則代  
りを楽しんでもらおうと小丸（表理事）は、高鍋町の小丸大

橋と木城町の高城橋の下でこのほど、アユの稚魚400キロを放流した。

小丸大橋の下には組合員ら約10人が集合。延岡市北浦町の養魚場が養殖したアユがトラックで運ばれてくると放流用のホースを使って川に放った。体長約7、8センチのアユは元気に泳いでいった。

アユは県や高鍋町など小丸川周辺4町からの委託金、小丸川で工事を行う建設会社からの協賛金、組合費などで購入。毎年4月と7月に放流している。前田代表理事は「上流ダムの老朽化による川の濁りなどの影響で、アユが育ちにくい状況が続いている。無事に大きくなるまで見守ってほしい」と話した。